

福島県農業信用基金協会

1. 福島県の紹介

福島県は、東北地方の一番南、東京からは概ね 200 km 圏内に位置しており、面積は 13,783.90km² で、全国では、北海道、岩手県について 3 番目の広さを持つ県です。

南北に連なる阿武隈高地と奥羽山脈を境に西から「会津」、「中通り」、「浜通り」に分けられる福島県は異なる気候風土のもと、3つの地域がそれぞれ魅力的な発展をしてきました。



「福島駅東口モニュメント」

NHK朝の連続ドラマ「エール」のモデルになった福島市出身の古関裕而先生が、夏の甲子園大会歌「栄冠は君に輝く」の他、早稲田大学の「紺碧の空」、読売巨人軍の「闘魂こめて」、阪神タイガースの

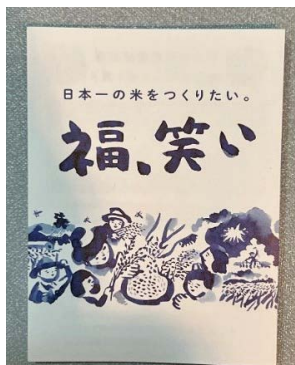
「六甲おろし」等の応援歌を作曲し、野球界に貢献したことが認められ、令和5年1月に野球殿堂入りしました。

また、全国規模で開催される唯一の鑑評会である全国新酒鑑評会では、福島県が金賞受賞数で9回連続日本一となっており、歳元自慢の日本酒を是非味わっていただきたいと思います。



2. 福島県の農業

大消費地である首都圏に比較的近く広大な耕地に恵まれた福島県では、それぞれの地域の条件を生かしてさまざまな作物が生産されています。そのうち最も割合が多いのは、コメで762億円、全国6位です。「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」のほか、福島県のオリジナル品種である「天のつぶ」や「福、笑い。」などが栽培されています。



「福、笑い」

次いで野菜の480

億円で、涼しい気候を生かした夏秋キュウリでは全国1位の収穫量です。中通り地域を中心に県内全域で栽培されています。

また、代表的なフルーツである桃をはじめとした果実や花卉、畜産にあっても全国有数の生産量に位置付けられており、「ふくしまプライド」と銘打って県産品の魅力発信



「あかつき」

とブランド化の推進が展開されています。

果物では、初夏のサクランボからスタートして、「あかつき」を主力に全国トップクラスの出荷量を誇る夏の桃やなし、ブドウ、りんご、そして、本県が発祥でGI登録を受けている「伊達のはんぱ柿」が出荷終了となる春の雪解け頃まで、きれ目なく色んな果物が生産・出荷されます。

また、花卉では、宿根カスミソウやリンドウなどが全国の上位の生産量にあり、特に「昭和かすみ草」は夏秋期日本一を誇っており、雪室と呼ばれる雪を利用した予冷施設を活用することで高い品質が市場から評価されています。

3. 福島県農業信用基金協会の概要

当協会は、理事8名（常勤1名）、および監事3名の役員11名、職員は15名で2部（総務部・業務部）3課（総務課・審査課・管理課）体制で業務運営を行っております。



4. 福島県農業信用基金協会の活動

当協会は、変化する状況への適切な対応を図り、農業者等が必要とする資金需要に応え、被災農業者等の復旧・復興支援に引き続き取り組むなど信用補完制度機能を十分発揮し、もって本県農業の再生に寄与するため、3つの基本方針（①保証機能の充実強化②適正な代位弁済と求償権の回収強化③業務運営体制の整備と経営基盤の強化）に基づき、債務保証業務の遂行、経営の健全性維持に努めることとしています。

東日本大震災から12年経過し、ようやく農業資金の保証需要が増加してきましたが、保証全体では、住宅関連資金の保証残高が過半をしめており、農業保証の積極的引受を行うことで、本県農業の再生・復興に貢献してまいり

ます。

今後、令和6年2月からの保証審査システム稼働に伴い、小口生活資金などの保証についてもきめ細かなサービス提供に努め、協会の使命である信用補完制度機能を十分発揮していく所存です。

